

## 要望書で頂いた皆様のご意見

東京外かく環状道路について(質問)

外かく環状道路担当御中

公開質問書

要望書(タイトルなし)

外郭環状道路の計画のたたき台 自主回収と再提案のお願い

## 東京外かく環状道路について(質問)

【鎌田の町を次代に残そう会】

このたび、外環計画の「たたき台」が公表され、この計画の説明会が当地域は6月8日(金)に開催されますが、当日混雑予想されますので、事前に送付いたします。回答いただければ幸いです。

### ルートについて

東名道接続点までルートが公表されたが、私たちの地域は以遠(下流)地域で明示がない。仮に本計画決定の場合、以遠の鎌田地域のルートが必然的に決定される處あり。外環道全体の計画が示されない限り納得できない。賛成が、遠隔者・企業者で数で決まることは問題ではないか。

### 構造について

沿道環境を考慮して、地下構造に変更するとあるが、私達地域は国分寺崖線のT.P30mの下流で、構造は開削ボックスとなっているが、地域コミュニティー保全の面でも分断し相当問題となる。

### ジャンクションとインターチェンジについて

ジャンクションとインターチェンジの建設上の差違が不明だ。接続道路の大小により構造が変わるのか。世田谷通りは、交通量も多く、既存建築物等から、危険、混雑、住民感情に影響が大きい(東名道接続も同じ)、地上部分が高架となることから、地域まちづくりの観点から、環境が悪化し生活上困難が生じないか。

### 地上部の利用について

成城4丁目までは、シールドで緑化等の利点ありと説明するが、私達の地域は開削だから地上部の利用は制限される。地元の意向などを十分勘案して検討するとしているが、検討内容が明示されぬ場合、ゴーサインにより問題解決が先送りされて現実性がなくなってしまうか。

### 環境について

(A)国分寺崖線までシールドのため、湧水(三ツ池、不動様)に大きな影響を与えることが必定だ。地域の地下水路を検索、安全確認するというが、本崖線の環境風致を害することは明白だ。

(B)排気ガス処理は、現在低公害化が進み可能とするが、現在の工学的処理能力では通行車両の日数万台の処理することは技術的に不可能に近いとされる。この開削部分は如何にするか

この外環計画は、反対、賛成を含めて対話型で計画づくりされていくとされている。この説明会の短時間開催によって、既成事実の積み上げとして進められる可能性があると思われるが如何。

### 代案として

この外環道の建設費は、1m、1億円以上と言われていることから、現在の環8道路を地下構造化、高架化の併用することで、このルート変更はできないのか

交通量のことが問題だ。都内進入車両の制限、都外にトラックターミナル建設、大型車の制限等が考えられる

外環ルートについては多くの考えを吸収することをお願いいたします。

## 外かく環状道路担当御中

前略「たたき台」を読み以下の愚見を申し上げます。

(1)公共事業によって、返済のあてがない国・自治体の債務増が問題になっている現在、誰がなぜ外環建設を必要としているのかさっぱり判らない。

(2)35年前の計画そのものを再検討すべきである。バブル期にすら実行されなかった外環建設をなぜ蒸し返すのか説明すべきである。役にたたない臨界副都心や東京湾横断道路よりも必要度が低かったから現在まで放置されてきたのではないか。

(3)議論の進め方がなっていない。今までやってきたいい加減なやり方を踏襲せず、外環建設を行おうとする者は以下について計画を明らかにして、建設の要否に関して他人の意見を聞くべきである。

なぜ外環を建設したいのか。完成時期をいつにするのか。その時点でどんな利益と不利益があるか。

どんな道路を建設したいのか。

建設費と保守費はいくらになるか。それを誰が負担するのか。

臨界副都心、東京湾横断道路のような不要な物を建設して債務を増加させた前例が現在どうなっているのか。

(4)建設が必要となってから、上の計画を「たたき台」として技術的問題を検討すべきである。

(5)外環建設を行おうとする者と建設業務を行う者をはっきり区別せよ。国土交通省、東京都の建設担当の事務方は前面に出るな。

## 公開質問書

開削ボックス工法によれば工事着手後直ちに水脈破壊、水位低下を招くことは環状8号線の井荻トンネル工事を実証済である。井荻トンネル工事の際、近隣に対する環境アセスメント説明会では地下水対策には十分配慮して施工すると公表しながら工事着工後急激な水位低下を招き周辺の井戸が枯れた。現在でも復元していない。今回の外郭環状道路工事の青梅街道インターチェンジ部分を開削ボックス工法で施工する事により地下水位の低下、井戸の枯渇を100%招く。これらの地域環境への著しい悪化を公表せずにトボけて井戸が枯れたらそのときは現代科学の予測不可能な領域と弁解すれば済む。しかし今回の質問書で行政は十分知らされていた事になります。

### 質問1

行政は現在の開削ボックス工法で水脈破壊、水位低下による井戸の枯渇を知りながら住民の反対を避けるためにこれらの悪影響を伏せて着工するのですか？

扇国土交通大臣が原点に戻って住民と話したい、賛成・反対の意見をお持ちの方に議論に参加してもらいたいと称しているが今迄住民が基本計画の賛否を問う場を一度も与えられていない。行政は今迄基本計画に対する住民の賛否を一度も確認していない。先日の桃井小学校の説明会では一方的な工事現場の説明に終始した。住民に基本計画に対する賛否を問う事はなかった。

### 質問2

行政は住民に外かく環状道路(大泉～用賀)の賛否を問う機会を一度でも与える用意があるか？

## 要望書(タイトルなし)

私は外環道の東名との合流インターチェンジ予定地の近くに住んでおります。合流点は環八と東名の合流点から1キロしか離れていません。このような近さに、合流点を作るのは近すぎて環境に負担がかかりすぎます。地下40メートルからアクセルを踏んで地上に上がってきます。騒音・排ガスは従来よりも多い。

環八の交通量は多少は減るでしょうが、この1キロの付近の車の交通量はトータルとして確実に増えます。北に世田谷通り、南に246、第三京浜とすでに交通量は多いです。

将来的には外環道は第三京浜までは伸長しなければ(渋滞が激化するので)ならないと思いますが、環八と外環道間の距離が1キロは近すぎます。道路はある意味で必要ですが、その負担はなるべく公平に、一部地域に負担が過重とならないようにすべきと考えます。1キロは近すぎます。

ゴミも各自治体が自前で分散して処理しています。ちなみに用賀(東名と環八の交流点)の近くにゴミ処理場があり、臭化ダイオキシンが出ているでしょう。

環八には環八雲という排ガスの雲が出て有名(?)です。1キロにインターチェンジは近すぎます。

賢明なる大臣殿においては、インターチェンジの位置をあと500メートルでもみなおして、外環道を計画されることを強くお願いします。大臣は環境を常に重視しておられるので、きっと修正していただけると信じております。お体に気をつけてがんばってくださいませ。失礼申し上げました。

## 外郭環状道路の計画のたたき台 自主回収と再提案のお願い

(1)表題のたたき台は行政の説明責任を欠いた文書ですので自主的に回収していただきたい。同文書の中の整備の必要性を論じる以前に都市計画局以外の関係部局と調整を済ませた上で都民にむけて再提案するようにお願いします。

(2)都民にとって最大の関心事である都市問題 ゴミ 水 電気 自動車排気塵は行政と一緒に共同で解決すべきと考えています。

(3)上記の都市問題に関わる一切の関係部局が総合調整を済ませないで自分の持ち分の専門領域をわき目もふらずに進める時代はとっくに終わっています。それをわずか 8 行の説明文で必要性を説くというセンスが都民税の納税者として全く納得できません。

(4)ゴミは自区内処理が原則であるべきです。逆にいえば都市のスケールはおのずと制約条件があって無制限に拡大すべきだとは考えるべきではありません。したがって東京都の開発のスケールは自区内処理が可能な範囲にとどめるべきです。隣接した他の自治体に不法で投棄が繰り返されるのは大変失礼なことであり黙認できません。

(5)水も同様です。他の自治体にダムを造らせそれを利用するのはもう限界にきています。地下水の汲み上げを促進し他の自治体への迷惑は最小限にする努力が求められています。地下水汲み上げで地盤沈下を起こすならそこが東京都の開発の限界と考えるべきです。

(6)私たち都民は下水処理場の下流にある浄水場で取水された水を化学処理した飲料水を飲むのは願ひ下げです。くそみそ一緒の生活は我慢がなりません。河川からの取水について行政が生活用水と農業用水の割り振りを見直ししているという話はまだ聞いたことがありません。

(7)電気も同様です。過疎地の住民を不安におとし入れるのではなく原子力発電所を銀座でも丸の内でも造ったらよい。都民がそれを受け入れないなら東京をこれ以上拡大すべきではない。

(8)以上の私たち納税者の認識は行政を充分監視し東京をこれ以上開発しないということです。これは 5 年 10 年のことではない。孫子の世代まで関わる話です。行政の縦割り主義や任期一杯こなせばよいという無責任主義に私たちの生活基盤を委ねる気持ちはありません。

(9)ひるがえって計画のたたき台をみるとまったくそうした視点は欠落しています。そんなことで都民を説得できると思っておられますか。

(10)これは自分たちの領分ではないから説明するわけにはいかないなら担当部局の人間を呼んで都民に納得のいく説明をすべきです。

(11)都市計画局は都市計画のことしか考えていない。都民は生活をトータルに考えている。あなた方が関係部局の応援無しに都民を説得できるわけがない。

(12)自主回収と再提案をお願いするゆえんです。

(13)蛇足ですが私は 25 年前三鷹料金所工事で父の家が用地のかかり土地を売却し不便な日野市に引っ越してきた者です。その後の父の家の跡地の環境の変化をつぶさに見てきました。

(14)だから今度の道路の計画予定地の住民のみなさんにはいろいろ話したいことが一杯ありいつでも出かけていこうと思っています。

(15)当時の道路公団の武部健一局長 河内稔典氏とはずいぶん議論をしました。このパンフレットを見て過去から教訓をちっとも得ていないな。真剣味が伝わってこない。本気でやろうなんてちっとも思っていない。というのが感想です。